



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月31日

上場会社名 株式会社マースグループホールディングス
コード番号 6419 URL <https://www.mars-ghd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 高橋 丈治

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,359	144.4	2,788	826.6	3,136	489.3	2,227	534.2
2023年3月期第1四半期	3,420	2.7	300	6.6	532	14.1	351	66.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,373百万円 (197.5%) 2023年3月期第1四半期 1,134百万円 (13.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年3月期第1四半期	135.69	135.60
2023年3月期第1四半期	21.07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年3月期第1四半期	68,310	59,144	86.6	3,601.15
2023年3月期	63,922	56,307	88.1	3,429.37

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 59,144百万円 2023年3月期 56,307百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年3月期		35.00		35.00	70.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		40.00		45.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	13,000	73.3	2,800	224.6	3,000	150.5	1,900	130.3	114.89
通期	28,000	37.6	6,700	62.4	7,100	50.1	4,500	43.1	272.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	22,720,000 株	2023年3月期	22,720,000 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	6,296,265 株	2023年3月期	6,300,865 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	16,418,660 株	2023年3月期1Q	16,672,911 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う人流の回復を受けて個人消費に改善の動きが見受けられました。また、訪日外国人数の増加が景気の下支えとなり、経済活動は正常化に向けて活性化しつつあります。その一方で、国際情勢に起因する原材料やエネルギー価格の高騰による物価の上昇、欧米を中心とした金融引き締めの影響から世界経済成長は停滞傾向にあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループはアミューズメント関連事業、自動認識システム関連事業、ホテル・レストラン関連事業の各事業を通じてお客様の「満足」を勝ち取るために新たな付加価値の追求をしております。また、変化する市場環境に柔軟に対応するため、各事業会社の役割や責任の明確化、意思決定の迅速化を推し進めるとともに、人づくりや組織づくりの再構築を図っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高83億59百万円（前年同四半期比144.4%増）、営業利益27億88百万円（同826.6%増）、経常利益31億36百万円（同489.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益22億27百万円（同534.2%増）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

[アミューズメント関連事業]

アミューズメント関連事業の主な販売先であるパチンコ業界は、レジャーの多様化や少子高齢化による遊技人口の減少で、稼働の低迷したパチンコホールの閉店・廃業の店舗が増加しており、依然として厳しい環境が続きました。一方でスマート遊技機（スマートパチンコ、スマートパチスロ）の市場導入が始まった昨秋以降、減少していた遊技客数は回復の兆しがあり、周辺設備の更新需要も増加傾向に転じました。スマート遊技機は、玉やメダルを触れずに遊べる遊技機で新しいゲーム性が期待されるだけでなく、感染症対策強化やギャンブル等依存症対策強化、不正防止、パチンコホールの負担軽減等の導入効果が見込まれ、次世代遊技機としてパチンコ業界全体で期待されております。今後もスマート遊技機を中心に専用ユニット等の周辺設備に対する需要拡大が見込まれます。

このような状況の中、当社グループではスマート遊技機専用ユニット「スマートユニット」を中心に、少人数でホール運営が可能なパーソナルPCシステム（以下「パーソナル」）及び遊技データ等の収集・AI分析が可能な「マースユニコン」等、トータルシステムでの提案・販売を行っております。前期から部材等の不足による製品の供給が追いつかない状況が続きましたが、生産体制を強化し製品の安定供給に努めた結果、その状況は改善しつつあり、スマートユニットの販売は好調に推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間におけるプリペイドカードシステム（パーソナルやスマートユニットを含む）の売上実績は8店舗、導入（実稼働）店舗数は累計1,513店舗（市場シェア23.6%）となりました。

空気力で紙幣を搬送する業界随一のA i r紙幣搬送システム及びハイスペックモデルの立体A i r紙幣搬送システムは、セキュリティの強化やホール業務の省力化等の導入効果が高く評価され、新規出店案件や居抜き案件の獲得に繋がりました。また、景品交換業務における省力化や利便性を追求したセルフPOSやクオリティの高い接客が可能なマーススマートウォッチⅢ等、きめ細やかな製品及び付加サービスの提案・販売を行い、商品力のある製品を通じてお客様満足・信頼獲得に努めてまいりました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、68億14百万円（前期比244.8%増）、セグメント利益は28億88百万円（同601.0%増）となりました。

[自動認識システム関連事業]

自動認識システムは、RFID、バーコード、X線検査装置等を媒体として各種データを自動的に取り込み・認識ができるため、自動化・省人化及びDX（デジタルトランスフォーメーション）の実現には欠かせないキーデバイスの一つとして、需要が高まっております。

当社グループでは特にFA市場、物流市場、アミューズメント市場を中心に新製品を投入し、提案販売活動を行っております。また、健診・人間ドック等の健診市場向けに専用のプラットフォーム「macmo（マクモ）」の拡販に努めてまいりました。更に画像認識分野への本格参入に向け、目視による検査判別を低コストで自動化を可能にした画像処理システム「MoMaVi（モマビ）」等、新製品をリリースいたしました。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、10億38百万円（前期比2.6%減）、セグメント利益は20百万円（同80.1%減）となりました。

[ホテル・レストラン関連事業]

ホテル業界ならびに外食業界は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を受け、国内旅行者に加えてインバウンド需要が急増し、業界全体で稼働が回復してきております。しかしながら、原材料費・光熱費の高騰による利益の逼迫や人手不足による人件費の高騰や運営面の課題等が懸念されております。

このような状況の中、「マースガーデンホテル博多」及び「マースガーデンウッド御殿場」では、会員制度であるマースガーデンクラブの入会促進やSNSを活用した集客、ダイナミックプライシングによる適切な価格施策を行い、収益向上に取り組んでまいりました。また、レストラン事業では、東京銀座エリアの「銀明翠GINZA」「銀座松月」を中心に質の良いおもてなしと料理で付加価値を高めブランド力の向上に努めてまいりました。

この結果、ホテル・レストラン関連事業の売上高は、5億6百万円（前期比34.2%増）、セグメント損失は26百万円（前期は97百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は683億10百万円となり、前連結会計年度末と比較して43億87百万円増加いたしました。

流動資産は381億59百万円となり、前連結会計年度末と比較して30億36百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、現金及び預金が10億23百万円増加し237億23百万円、原材料及び貯蔵品が9億82百万円増加し42億30百万円となりました。

固定資産は301億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億50百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、投資有価証券が18億13百万円増加し132億84百万円となりました。

流動負債は70億11百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億44百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、支払手形及び買掛金が13億27百万円増加し41億85百万円となりました。

固定負債は21億54百万円となり、前連結会計年度末と比較して5百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、退職給付に係る負債が5百万円増加し5億91百万円となりました。

純資産は591億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して28億36百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、利益剰余金が16億53百万円増加し527億97百万円、その他有価証券評価差額金が11億35百万円増加し27億77百万円となりました。

自己資本比率は86.6%となり、前連結会計年度末と比較して1.5ポイント減少いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は237億23百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億23百万円増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は17億53百万円の収入（前年同四半期は3億46百万円の支出）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益32億18百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は2億24百万円の支出（前年同四半期は8億27百万円の支出）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出4億3百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は5億21百万円の支出（前年同四半期は10億80百万円の支出）となりました。これは、配当金の支払額5億59百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,700,571	23,723,970
受取手形及び売掛金	4,430,108	4,416,711
リース債権及びリース投資資産	412,793	368,246
有価証券	349,965	350,035
商品及び製品	2,183,557	2,825,801
仕掛品	172,942	297,320
原材料及び貯蔵品	3,247,645	4,230,642
その他	1,681,447	1,998,270
貸倒引当金	△56,412	△51,777
流動資産合計	35,122,618	38,159,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,226,755	5,207,523
土地	9,628,287	9,628,287
その他(純額)	309,242	310,085
有形固定資産合計	15,164,285	15,145,896
無形固定資産		
投資その他の資産	306,158	307,945
投資有価証券	11,471,098	13,284,431
その他	2,350,102	1,903,264
貸倒引当金	△491,481	△490,608
投資その他の資産合計	13,329,720	14,697,088
固定資産合計	28,800,163	30,150,929
資産合計	63,922,782	68,310,151
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,858,476	4,185,722
リース債務	268,902	261,839
未払法人税等	1,052,319	980,967
賞与引当金	342,507	175,851
その他	944,796	1,407,226
流動負債合計	5,467,002	7,011,606
固定負債		
リース債務	294,372	236,357
役員退職慰労引当金	177,990	181,590
退職給付に係る負債	585,916	591,499
資産除去債務	61,447	61,563
その他	1,028,684	1,083,211
固定負債合計	2,148,410	2,154,222
負債合計	7,615,412	9,165,829

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,374,504
利益剰余金	51,144,527	52,797,707
自己株式	△12,655,002	△12,642,954
株主資本合計	54,795,454	56,463,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,641,643	2,777,470
退職給付に係る調整累計額	△129,727	△119,575
その他の包括利益累計額合計	1,511,915	2,657,895
新株予約権	—	23,069
純資産合計	56,307,370	59,144,322
負債純資産合計	63,922,782	68,310,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,420,003	8,359,941
売上原価	1,387,990	3,637,501
売上総利益	2,032,012	4,722,439
販売費及び一般管理費	1,731,099	1,934,255
営業利益	300,913	2,788,184
営業外収益		
受取配当金	155,618	308,080
その他	77,657	40,618
営業外収益合計	233,276	348,698
営業外費用		
自己株式取得費用	1,856	—
営業外費用合計	1,856	—
経常利益	532,333	3,136,882
特別利益		
投資有価証券売却益	—	81,267
特別利益合計	—	81,267
税金等調整前四半期純利益	532,333	3,218,150
法人税、住民税及び事業税	80,925	960,916
法人税等調整額	100,131	29,383
法人税等合計	181,057	990,299
四半期純利益	351,275	2,227,850
親会社株主に帰属する四半期純利益	351,275	2,227,850

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	351,275	2,227,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	776,997	1,135,827
退職給付に係る調整額	5,811	10,152
その他の包括利益合計	782,808	1,145,980
四半期包括利益	1,134,084	3,373,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,134,084	3,373,830

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	532,333	3,218,150
減価償却費	134,002	137,308
引当金の増減額 (△は減少)	△137,881	△168,564
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13,217	5,582
受取利息及び受取配当金	△156,068	△308,203
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△81,267
売上債権の増減額 (△は増加)	462,457	13,396
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	17,518	53,201
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△584,881	△1,749,618
営業貸付金の増減額 (△は増加)	23,354	47,670
仕入債務の増減額 (△は減少)	44,131	1,327,246
リース債務の増減額 (△は減少)	△37,625	△65,077
その他	122,448	271,471
小計	406,572	2,701,296
利息及び配当金の受取額	156,068	308,203
法人税等の支払額	△909,511	△1,255,621
営業活動によるキャッシュ・フロー	△346,870	1,753,878
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△99,616	△57,061
投資有価証券の取得による支出	△851,983	△403,040
投資有価証券の売却による収入	—	294,393
その他	123,762	△59,245
投資活動によるキャッシュ・フロー	△827,838	△224,953
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△510,558	—
自己株式の売却による収入	—	14,667
配当金の支払額	△570,346	△559,298
新株予約権の発行による収入	—	23,125
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,080,904	△521,506
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,590	15,981
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,232,022	1,023,399
現金及び現金同等物の期首残高	26,003,862	22,700,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,771,840	23,723,970

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル・ レストラン 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	1,976,231	1,066,780	376,991	3,420,003	—	3,420,003
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	141,767	39,441	7,570	188,779	△188,779	—
計	2,117,998	1,106,221	384,561	3,608,782	△188,779	3,420,003
セグメント 利益又は損失 (△)	412,037	100,988	△97,802	415,223	△114,309	300,913

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△114,309千円には、セグメント間取引消去2,790千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△117,100千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル・ レストラン 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	6,814,897	1,038,999	506,044	8,359,941	—	8,359,941
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	155,769	1,488	6,845	164,103	△164,103	—
計	6,970,666	1,040,487	512,890	8,524,044	△164,103	8,359,941
セグメント 利益又は損失 (△)	2,888,503	20,110	△26,668	2,881,945	△93,761	2,788,184

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△93,761千円には、セグメント間取引消去3,578千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△97,339千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。